

## 地域社会への貢献

### 健康で豊かに暮らせる社会づくり

#### 難病とたたかう子どもと家族の滞在施設「あすなるの家」

「難病とたたかうお子さんご家族の手助けに」を合言葉に、1998年に日本化薬創立80周年記念事業の一環として、病気で入院・治療されるお子さんと付き添われるご家族のための滞在施設として埼玉県さいたま市のさいたま新都心の近くに「あすなるの家」を開設し運営しています。

大人2名と子どもがご宿泊できる10部屋の個室（約10畳）と広いダイニングやキッチンを備えた「もうひとつの我が家」として安心してご利用いただける施設です。

あすなるの家を利用されるご家族のみなさまに気持ちよく滞在いただけるよう、日本化薬と関係会社の従業員やOBによる清掃や草刈りなどの定期的なボランティア活動も行われています。

利用されるご家族のプライバシーを守りつつ、そのご家族同士の交流を図ることができるように、またご家族にとって精神的・経済的な負担の軽減にお役にたてる施設となるように努めています。

#### > 「あすなるの家」概要

2,395人

延べ年間利用者数

年間利用家族数159家族  
※2021年1月～12月



従業員やOBによる清掃や草刈りなどのボランティア活動

#### Message

あすなるの家を開設してから24年目を迎え、今までに3,799組（のべ73,416人）のご家族が利用されています。

近隣には埼玉県立小児医療センター、さいたま市立病院、大和鍼灸院をはじめ小児医療に力を入れている医療機関が多く、より専門的かつ高度な治療を受けるために、日本全国からお見えになるご家族が増えています。

一昨年以来の新型コロナウイルス感染症の流行によりご利用家族数が減少しておりますが、感染症対策を行いつつ、多くのご家族を日々受け入れ続けています。

2017年にハウスマネージャーを拝命して以来、あすなるの家を利用される方の「我が家」となれるように、少しでも季節を感じられるような飾りつけをしたり、全国の同じような施設との情報交換など多くの新しいことを取り入れてまいりました。

これからも難病とたたかう子どもとご家族がより安全・安心・快適にお過ごしいただける「もうひとつのわが家」となれるように日々努めていきます。

お子さんが無事に退院され、ご家族と本当の家に帰る時の「ありがとう」の一言を胸に。

ハウスマネージャー 山路



#### LRIへの支援

LRIとはLong-range Research Initiative（長期自主研究）の略で、日米欧の化学産業界（日本化学工業協会、米国化学協議会、欧州化学工業連盟）の協力下で進められている活動です。ICCA（International Council of Chemical Associations）の自主活動のひとつであり、内分泌かく乱作用、神経毒性、化学発がん、免疫毒性、リスク評価の精緻化に焦点をあて、人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する研究を長期的に支援しています。

日本化薬グループは、このLRI支援活動が始まった1999年から積極的に賛同し、LRI活動のための資金を出資及び委員会への出席をしています。

> [LRI](#)

#### スポーツ振興

日本化薬グループは、スポーツ支援活動や社内の健康づくりイベントなどに取り組んでいます。

「生命と健康を守り豊かな暮らしを支える」という企業理念を実現するため、これからもさまざまな社会貢献活動を推進していきます。

#### ◆ Tリーグ オフィシャルスポンサー

「卓球界を通じて人生を豊かにする」というTリーグの理念に賛同し応援していきます。Tリーグを応援するとともに「生命と健康を守り豊かな暮らしを支える」という日本化薬の使命を果たしていきます。

> [Tリーグ公式サイト](#)



#### ◆ Vリーグ：ウルフドッグス名古屋「ゴールドパートナー」

バレーボールはボールを“つなぐ”スポーツ。人と人をつなぐことを理念に活動しているウルフドッグス名古屋の活動に協賛し応援しています。

> [ウルフドッグス名古屋公式サイト](#)



## ◆ 「スクラム・ジャパン・プログラム」の賛助に参画

「公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会」が立ち上げた、これからの将来を担う子どもたちのためにラグビーを通じて「子どもたちや青少年の育成や教育」を実現するため、さまざまな活動を行う「スクラム・ジャパン・プログラム」の賛助に参画しました。

その趣旨に賛同し、社会貢献活動の一環として、賛助会員として参加し応援していきます。



▶ [スクラム・ジャパン・プログラム公式サイト](#)

### 本社

#### 「令和3年度東京都スポーツ推進企業」に認定されました

東京都オリンピック・パラリンピック準備局から、「令和3年度東京都スポーツ推進企業」に認定されました。東京都スポーツ推進企業認定制度は、東京都が従業員のスポーツ活動の促進に向けた優れた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業を認定する制度です。

日本化薬は今後も、健康づくりイベントに継続的に取り組み、従業員の健康増進に積極的に取り組んでいきます。

▶ [東京都スポーツ推進企業認定制度](#)



## 次世代育成支援

### 次世代育成の取り組み

日本化薬グループは、未来を担う子どもたちに化学の面白さを少しでも理解していただけるよう次世代育成として「出張授業型」「学習協力型」「施設見学型」「イベント型」の4とおりで取り組んでいます。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催の中止や延期・リモート開催へ切り替えました。

## 出張授業型

出張授業は小学校の指導要領に即した独自の教育プログラムを開発し、工場・研究所のある地域の小学校で実施しています。

### ◆ 出張授業：「体のふしぎ発見！～体のしくみとくすりのかわり～」

医薬事業に関わりのある理科単元「人の体のつくりと働き」を発展させた次の4点について実験を通じて学べるカリキュラムです。

1. 食べ物が消化されるとどのように栄養が血液中に取り入れられるのか、全身をめぐるのか
2. くすりの成分がどのように小腸から血液中に取り入れられ、全身をめぐるのか
3. くすりが発揮すること体の仕組みには深く関わりがあること
4. くすりを作る会社がさまざまな工夫や努力を行っていること

#### 高崎工場 高崎市立岩鼻小学校6年生を対象に実施

2019年6月に高崎市立岩鼻小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。

高崎工場の専門性の高い知識を持つ従業員が講師や補助スタッフとして参加しました。多少緊張しながらも子どもたちに寄り添い、より理解を深められるようにアドバイスをしながら授業を進めました。今後も子どもたちに化学の面白さや社会とのつながりを身近に感じてもらえる機会を提供できるよう継続して取り組みます。



2019年度の実施風景

#### 東京研究事務所 北区立なでしこ小学校6年生を対象に実施

2019年7月に東京都北区立なでしこ小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。

医薬研究所と機能化学品研究所の研究員が講師や補助スタッフとして参加しました。児童のみなさんは授業中に行われる実験に興味を持ち、真剣に聞き入っていました。先生方からも感謝の言葉をいただきました。このようなイベントを通し、化学について興味をもってもらうとともに日本化薬についてもよりよく知っていただきました。



2019年度の実施風景

## 学習協力型

### 本社 千代田区九段中学校への学習協力

日本化薬は以前、千代田区九段下に本社を構えていたご縁より、千代田区立九段中等教育学校の『総合的な学習の時間「地域を知る」』の学習に協力しています。2014年に本社を丸の内に移転した後も地域貢献として継続しています。例年、会社にお越しいただき、会社紹介・広告制作の授業・課題説明・社内見学などを行い、後日課題の成果を発表していただいています。



課題：「たくさんの人に興味を持ってもらえる日本化薬らしい広告を考えよう！」

今年は新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議システムを使用し開催しました。広告制作を行う広報部員より広告についての授業を行い、「誰に、何を、どのように」伝える広告であれば効果的なのか、アイデアを出し合い班での議論を深め、1カ月後に中間報告、その1カ月後にパワーポイントを使った最終報告を行っていただきました。

今後も生徒の学びの一助となれるよう継続して取り組んでいきます。

## 施設見学型

### 姫路工場 次世代育成の取り組み

近隣小学校の6年生を招いて、姫路工場で製造しているガス発生剤を模した「しゅわしゅわタブレット」を作るワークショップを行いました。

エアバッグの重要性や火薬の燃焼の動画を視聴していただき、社内の体験教育を行う施設「道場」で部品や製品の品質検査も体験していただきました。

これからもさまざまな工夫をこらし、科学の面白さやものづくりの楽しさをお伝えしていきたいと考えています。



2018年度の実施風景

## イベント型

### 厚狭工場 山陽小野田市主催の「かがく博覧会」

#### 小中学生を対象に「クロマトグラフィーを使ったうちわ作り」を開催

厚狭工場は毎年恒例となっている山陽小野田市主催の「かがく博覧会」に出展しました。今年は「色で遊ぼう」というテーマで、クロマトグラフィーの実験を行い、世界に一つだけのうちわ作りを体験してもらいました。



2019年度の実施風景

子どもたちには、うちわ作りの中で色が分離する仕組みを説明し、科学の不思議に触れてもらいました。

### 東京研究事務所 小学校夏休み子ども公開講座の開催

2019年8月、東京都北区立なでしこ小学校の3年生から6年生までを対象に、夏休み公開講座を開催しました。

東京研究事務所や各研究所メンバーが協力して、光硬化性樹脂であるアクリルレジンを使用した実験を実施しました。

光を当てると、液体のアクリルレジンが、固体へと変化する様子に子どもたちは夢中になっていました。東京研究事務所ではこのようなイベントを通し、化学について興味を持ってもらい、さらに日本化薬についてより知っていただくイベントを開催していきます。



2019年度の実施風景

### 東京研究事務所・本社 日本化学工業協会主催の

#### ～「夏休み子ども化学実験ショー」～実験教室を開催

日本化薬は2019年8月3日～4日の2日間、科学技術館（東京・九段下）で開催された小学生向けの化学実験イベント「夏休み子ども化学実験ショー」に出展し、200名を超えるお子さんに参加いただきました。

「レジンで作るキラキラキーホルダー～光でかたまると、不思議な液体のナゾ～」というテーマで光硬化性樹脂であるアクリルレジンを使った工作を行いました。夏休み子ども化学実験ショーで「光硬化性樹脂」をテーマにするのは、初めての試みでしたが、かやくーまのシールやキラキラビーズを自分好みに配置し、世界に一つだけのキーホルダーが完成すると、子どもたちは歓声をあげて喜んでくれました。



2019年度の実施風景

### カヤク セーフティシステムズ デメキシコ スクールサポートプログラム

サステナビリティ推進活動の一環として、カヤク セーフティシステムズ デメキシコ（以下、KSM）では毎年、ご協力いただいている方々の子どもたちを対象にスクールサポートプログラムに参加するためのコンテストを開催しています。このプログラムは、例えばKSMで働く両親を通じて、従業員の子もたちが学習を続け、モチベーションを高めることを継続的に推奨することを目的としています。参加した子どもたちは、KSMの価値観である「コミットメント」「チームワーク」「環境・安全への配慮」を表す「かやくーま」を描き、奨学金として、KSM公式バックパック、学校用品、土産品などを含む「奨学金キット」が進呈されました。

KSMはご協力いただいている家族に対して、子どもたちの専門的・学術的成長のための勉強を継続的に進めるため支援をしています。



## 地域への取り組み

日本化薬グループでは、工場祭や各施設の開放、教育活動、寄付や協賛などの支援、献血、ピンクリボン活動、清掃活動、懇談会などを通して地域のみなさまに当社の事業内容をご理解いただけるよう努めています。

今後もさまざまな交流の場を設け、地域のみなさまとのコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社でありたいと考えています。

## 日本化薬の締結している主な地域との協定

事業場	協定名	協定先
福山工場	公害防止に関する協定	広島県、福山市
厚狭工場	水質汚濁防止に関する協定	山口県漁業協同組合
	環境保全に関する協定	山陽小野田市
東京工場	緑の協定	足立区
	着色排水問題協議会設置の合意書	東京都下水道局第二管理事務所
	震災時における災害時相互応援に関する協定	足立区新田町内会、新田一丁目地自治会
	市民用小型ポンプ格納庫設置場所	千住消防署
東京研究事業所	消防関連施設提供	東京消防庁赤羽消防署
	1. 消防水利の提供	
	2. 渡し舟の災害救助時の出勤	
	3. 消防団協力事業所	
高崎工場	4. 高所見張所としての屋上部分の使用協力	
	自衛消防隊の消火協力に関する協定書	高崎市等広域消防局
姫路工場	排水の管理に関する覚書	姫路市
鹿島工場	公害防止に関する協定	茨城県、鹿嶋市、神栖市

### 厚狭工場 がんばろうASA！ 希望の花火

日頃お世話になっている地域住民のみなさまへの感謝と、新型コロナウイルス感染症と闘っていらっしゃる医療従事者のみなさまへ感謝の意を込めて、すべての人に元気と笑顔をお届けし、明日への希望をもっていただくことを目的として昨年引き続き打ち上げ花火を実施いたしました。打ち上げの場所には地域のみなさまのご協力を得て、工場近隣にある山陽小野田市梶漁港をお借りし、今回が初めての試みとなる当社公式YouTubeチャンネルにてライブ配信しました。約15分間にわたる花火の模様は多くのみなさまに見ていただけました。現地では夜空を彩る色とりどりの花火に観客から拍手が起り、コロナ禍のなか明るい話題をお届けすることが出来たと思います。ご協力いただいた関係者のみなさまありがとうございました。



## 東京工場 消防総監賞・東京防災救急協会理事長賞 受賞

2021年11月、東京工場は消防総監賞と東京防災救急協会理事長賞の2つの賞を受賞しました。

こちらは、千住消防署より長年の消防行政への協力を高く評価していただき受賞に至りました。東京工場は数少ない東京都内に残る化学工場の1つで、毎年の総合防災訓練の実施や千住消防署が主催する「自衛消防訓練審査会」への参加など、地元消防行政と連携を深めながら運営してきました。

今後も安全第一での操業を続けていきます。



## 「あすなろの家」概要

「あすなろの家」は、小児がんをはじめとする難病の治療を受けるなど、専門の医療機関に入院・通院しているお子さんと付き添われるご家族の方に安心して我が家のようにご滞在いただけることを目指しています。日本化薬創立80周年記念事業の一環として1998年の開設以来、延べ3,800組を超えるご家族の方々にご利用いただいております。

この施設内には、ご利用者のプライバシーを守れる全10室の部屋とご家族同士の交流が図れる共同キッチンやダイニングルーム、プレイルーム、洗濯室などがあります。小さなお子さんと一緒に長期滞在に必要な設備を備え、少しでも病気のお子さんご家族の精神的・経済的なご負担を軽くするお手伝いをするための施設です。



## 所在地

埼玉県さいたま市大宮区北袋町2-336

> [地図](#)

## 交通

JR京浜東北線「与野駅」、 「さいたま新都心駅」から徒歩 約15分 / 車 約5分 / 自転車 約8分

JR大宮駅東口またはさいたま新都心駅東口から東武バス（「さいたま市立病院」行、「東新井団地」行）で「上木崎」下車、バス停より徒歩約3分

## 施設設備

全館禁煙

個室10室（和室1、洋室9：内1部屋は車椅子での利用も可能）、共同キッチン、ダイニング、プレイルーム、洗濯室、玄関はオートロックシステムとなっており、滞在者は夜間、休日いつでもご利用できます。

また、無料駐車場5台分と無料貸し出し自転車5台を常設しています。

## 個室設備

全個室にテレビ、バス、トイレ（ウォシュレット付）、冷暖房設備、押入、電気ポット、ドライヤー完備。

そのほかに、洋室にはセミダブルベッド2床、テーブル、椅子、クローゼットが、和室にはテーブル、座椅子がそれぞれ設置されております。

※ 車椅子利用可能な部屋は、若干設備が異なります。

## 利用料

1日（1室1家族）1,000円。

※ 貸し布団代（1人分：1日100円）、リネンクリーニング代、自炊するための食材費は自己負担となります。

## 予約・お問い合わせ

治療されている病院の紹介を受けて、電話やFAX、メールであすなろの家に直接利用の申し込みをします。ハウスマネージャーが利用目的を確認した上で、ご利用希望者へ確定のご連絡をいたします。

電話番号：048-658-5861 ハウスマネージャー 山路（平日：9時～17時）

FAX番号：048-658-5863

E-mail：[asunaro@nipponkayaku.co.jp](mailto:asunaro@nipponkayaku.co.jp)

